

平成 30 年度

(2018 年度)

事業報告書

社会福祉法人 菊水光明会
障害者支援施設 光明学園

目 次

はじめに	
1. 職員の体制	
(1) 支援体制	1
2. 催し物について	
(1) 行事	2
(2) 社会活動	6
(3) 園外活動	7
(4) 特別給食	8
3. 支援・援助について	
(1) 日常生活支援	11
(2) 作業活動	12
4. 会議について	
(1) 職員会議・ケア会議	13
5. 研修について	
(1) 施設内研修	15
(2) 施設外研修	15
6. 保健衛生について	
(1) 健康診断	18
(2) 入院状況	19
7. 防災・保安について	
(1) 防災訓練	19
(2) 防災設備点検	20
8. 入退所について	21
9. 面会・外泊・帰省等について	
(1) 面会・外泊の状況	21
(2) 帰省の状況	22
10. 実習・ボランティアについて	
(1) 実習	22
(2) 体験学習	22
(3) ボランティア	23
11. その他	
(1) 短期入所	23
(2) 日中一時支援	24
(3) 苦情の受理及び解決の状況	24

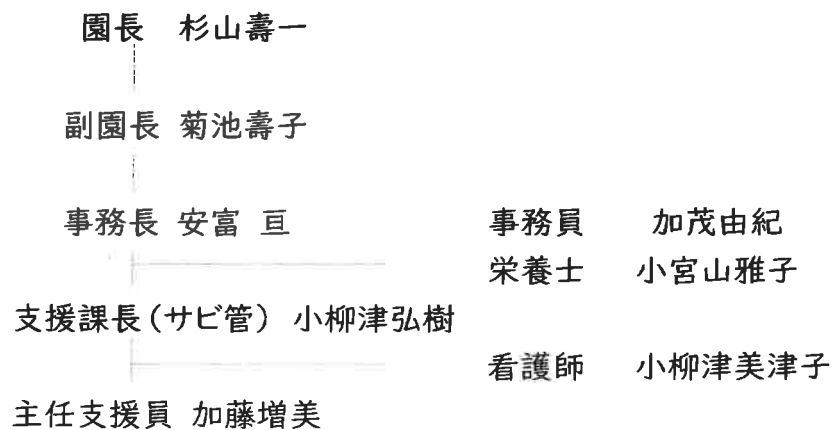
はじめに

高齢化・重度化の波が目に見えて押し寄せてきた１年であった。医療的な配慮を必要とする事態になり、不慮の事態や入院等により学園を退所した方がいました。反面、利用者様においては、穏やかに生活が営むことができたようで、不穏による他害行為や事故が大幅に減少しました。

（事故件数 29 年度 69 件→30 年度 27 件）

Ⅰ、職員の体制

（Ⅰ）支援体制



（Ⅱ）生活介護担当支援員 及び居住棟担当

生活班	屋外作業班	屋内作業班	その他の支援
中西裕一郎 (B棟)	加藤増美 (C棟)	丸山 徳 (C棟)	新聞喜代美
石山翔一 (B棟)	竹嶋 正 (A棟)	中川優奈 (C棟)	高柳 実
田中真人 (B棟)	岩井麻琴 (B棟)	高林 翔 (B棟)	
渡邊和枝 (D棟)	雷 結吏 (C棟)	宮木正恵 (C棟)	
福澤 瞳 (D棟)	井上雄貴 (A棟)	太田由季 (居宅支援)	
入澤香里奈 (D棟)	小西元樹 (A棟)	池谷佳代子 (D棟)	

日中は作業やウォーキング等諸活動に参加を促し、休日や夜間はリラックスして過ごせる時間を提供することに努めた。

利用者個々の記録は、全員で行い、各所属の棟の担当者が支援計画の推進や評価を行い、サービス管理責任者とカンファレンスを行いながら支援を進めていった。

2、催し物について

年度当初に各諸行事の担当者を決め、利用者の希望等も反映した計画を立て、また保護者の皆様からご協力をいただきながら各催し物を実施した。

(1) 行事

実施日		行事名	会場・目的地	参加者	実施内容
4	13	ハイキング	佐鳴湖公園	利用者 53人 職員 18人 計 71人	それぞれの体力に合わせて佐鳴湖公園に向かったが、約半数弱の方が頑張って歩き、残りの方が車でいった。公園では、散策やボール投げしたり、お弁当を食べたりして、春のうららかな日を過ごすことができた。
	29	親の会総会	学園会議室	保護者 28家族 35人	平成 29 年度事業報告、平成 30 年度事業計画収支予算について承認を得た。また、個別支援計画に関する説明を各担当支援員より保護者に行い、承認を得た。
5	9	春期 残留者行楽 (1 班)	のんほい パーク (豊橋市)	利用者 11人 職員 6人	GW期間に家族との交流がなかった利用者を対象に実施した。 館山寺で昼食を摂り、のんほいパークで散策した。広い公園内で動物を見たりして楽しんだ。
	15	春期 残留者行楽 (2 班)	のんほいパーク	利用者 11人 職員 7人	1 班と同じコースであったが、年齢的に高い方が多かったので、散策途中で疲れを訴えが見られた。
	18	春期 残留者行楽 (3 班)	とろろ屋本店	利用者 6人 職員 4人	外出することが困難な方を中心に食事会を催した。全員 完食した。

実施日		行事名	会場・目的地	参加者	実施内容
5	31	春期行楽	竹島水族館 (蒲郡市)	利用者 48人 保護者 23 家族 28人 職員 19人 計 95人	蒲郡オレンジパークで昼食を摂り、竹島水族館にて手に触れられる海の生き物に触ってみたり売店で買い物をして家族が来た利用者にとっては久しぶりの家族交流ができたようだ。また、家族が来なかった利用者たちにとっても久しぶりの遠出で楽しく過ごせたようです。
7	7	創立祭	食堂 中庭	利用者 47人 保護者 25 家族 35人 職員 24人 計 106人	午前中は「お祝いの会」として、式典を行い、音楽サークルの発表や職員の出し物をおこなった。午後は流しそうめんを行いそうめんをつかむのに苦労しながらでしたが、いつになく笑顔が見られた。
8	10	夏季 残留者行楽 (1 班)	ふじのくに 茶の都 ミュージアム (牧之原市)	利用者 8 名 職員 6 名	夏季帰省期間に家族との交流がなかった方を対象に実施した。 牧之原SAで各々好みの昼食を摂り、茶の都ミュージアムを見学した。バリアフリーの施設で、車いすでの移動も楽であり、お茶の加工などを見て回った。
	21	夏季 残留者行楽 (2 班)		利用者 4 名 職員 3 名	フラワーパーク近くのお店でかなりのボリューム感があったが、皆さん完食された、その後浜名湖を見ながらドライブして学園に戻ってきた。

実施日		行事名	会場・目的地	参加者	実施内容
8	25	夏祭り	運動場	利用者 49人 来賓11人 地域の方 54人 家族10人 ボランティア 23人 職員23人 計170人	ボランティアの皆さんの協力の元、盆踊り・餅投げ・各種模擬店や花火大会を行った。地域の方々との交流も有意義に行うことができた。
	29	夏季 残留者行楽 (3班)	ふじのくに 茶の都 ミュージアム (牧之原市)	利用者 7人 職員6人	1班と同じコースであったが茶の都ミュージアムを見学したがあまり興味は示さなかったが、道中の車の中では好きな歌を流してリズムを取ったり歌ったりして大いに盛り上がった。
10	9	日帰り旅行	清水港周辺	利用者 15人 職員 12人	日本平が台風の影響で停電が復旧できず、昼食が急遽エスパルスドリームプラザに替わったが清水の景色や港の中を遊覧船で遠くに富士山を望みながらちょっとした船旅を味わうことができた。
	27	スポーツレク祭	神久呂協働センター 体育館	利用者 53人 保護者 28家族 40人 ボランティア 34人 職員 26人 計153人	「みんなで楽しく身体を動かそう!」をテーマにご家族の皆様・ボランティアの皆さんと一緒に風船やボールを使ったゲームそして、ダンスと秋の1日を楽しく過ごすことができた。

実施日		行事名	会場・目的地	参加者	実施内容
11	10	ふれあい スポーツ広場 浜松大会	可美公園総合 センター体育 館	利用者 19人 職員7人	自動車総連の招待によるス ポーツイベントに参加した。 おそろいのユニフォームのT シャツを着て、参加者を代表 しての選手宣誓を行った。 ロープ送りや風船バレーな どの競技に参加し、他施設 との交流もでき、充実した1 日を過ごすことができた。
	16	ヤマハ チャリティー 観劇	磐田市民 文化会館	利用者 15人 職員 5人	ヤマハ労連の招待による劇 団四季のミュージカル「オオ 様の耳はロバの耳」を観劇 した。色とりどりの照明や、 楽しい歌などストーリーもさ ることながら大迫力のステ ージに圧倒され、帰りは演者 の皆さんと写真を撮ったりし て楽しい時間を過ごすこと ができた。
12	8	クリスマス会 (地域交流事業)	学園内	利用者 52人 来賓4人 地域の方 50人 保護者 20家族 23人 ボランティア 29人 職員 25人 計183人	午前中は地域交流を目的 としたバザーを開催。近隣の 就労施設よりの餃子店やク ッキー店も開店してにぎやか なバザーとなりました。 午後は、今年を振り返る行 事のクイズや神久呂中学吹 奏楽部の演奏などを楽し み、カラオケを歌ったり、職員 によるダンスに大笑いした。 また、その後のプレゼントや ケーキに目を輝かせて楽し い1日が終わった。

実施日		行事名	会場・目的地	参加者	内容
12	14	愛護ギャラリー 見学	グランシップ	利用者 11人 職員 5 人	作品を出展したメンバーの 代表が参加した。きれいに 展示されている、自作の作 品に喜び、他の施設利用者 の作品に驚いたりして、来年 は、もっと賞をとるぞと思いま した。 なお、共同作品とK・A さん の絵画が奨励賞を受賞し た。
1	8	餅つき	食堂		インフルエンザ集団感染の ため、中止
	11	冬期残留者行 楽(1 班)	豊川稲荷		インフルエンザ集団感染の ため、中止
	15	冬期残留者行 楽(2 班)	豊川稲荷		インフルエンザ集団感染の ため、中止
	18	冬期残留者行 楽(3 班)	弥平次		インフルエンザ集団感染の ため、中止
2	6	節分	食堂	利用者 53 人 職員 14 人	鬼に扮した職員目掛け「鬼 は外」と豆に見立てたお菓 子を投げ、鬼が退散して福 の神よりお菓子を貰った。
3	26	お楽しみ会	運動場 食堂	利用者 52 人 職員 12 人	1 年間の出来事をビデオ で見て、犯人当てゲームをし て、クリスマス会バザーの収 益金で購入したカップラーメ ンに思い思いの具材をトッピ ングしておやつとして食べ た。

(2) 社会活動＜買い物・外出＞

一人あたり、2 か月に 1 回あたりの外出の機会を設けるという計画で行っている。
しかしながらここ数年の傾向として、支援員とマンツーマンでの外出が余儀なくされて

しまっている。原因に高齢化があり、移動能力の衰えが顕著にみられてきている。

主な活動内容と場所

活動内容	場 所	活動内容	場 所
買い物	イオン志都呂店 イオン入野店 イオン市野店 プレ葉ウォーク しまむら	外食	回転寿司 ファミリーレストラン等
		行楽・見学	浜名湖ガーデンパーク 花川運動公園 都田公園

(3) 園外活動

活動班単位で年に3回学園を離れてゆったりとして時間を過ごすことを目的として実施した。

生活班

月日	行き先	参加者数	実施内容
6/12	四ツ池公園	利用者 15 人 支援員 5 人	日陰の芝生で心地良い風に吹かれながらボール遊びやジュースを飲んで過ごした。
9/14	浜名湖県立 自然公園	利用者 16 人 支援員 7 人	雨天のため目的地には立ち寄っただけで浜名湖周辺をドライブとなった。
3/6	のんほいパーク	利用者 16 人 支援員 8 人	お弁当とお小遣いを持って遊園地で乗り物に乗ったりして楽しく過ごした。

屋外作業班

月日	行き先	参加者数	実施内容
6/5	花川運動公園	利用者 15 人 支援員 6 人	公園内を散策し、冷たいジュースを飲んですがすがしい気分でも過ごせた。
9/11	浜名湖県立 自然公園	利用者 15 人 支援員 5 人	浜名湖を渡ってくるさわやかな風を受けて湖岸を散歩した。
3/12	のんほいパーク	利用者 17 人 支援員 8 人	広いスペースで、動き回ることができ、楽しく過ごす事ができた。

屋内作業班

月日	行き先	参加者数	実施内容
6/8	可美公園	利用者 20 人 支援員 6 人	芝生の上を歩いたりベンチで日を浴びて 過ごしたりのんびりとした時間を過ごした。
9/7	花川運動公園	利用者 20 人 支援員 7 人	広場において散策して、ジュースを飲んで普 段と違う時間や景色を楽しんだ。
3/8	浜松 フラワーパーク	利用者 21 人 支援員 10 人	少し風が強かったが早咲きの桜の下でお弁 当を食べ、場内を花を眺めながら散策した。

(4) 特別給食

「お弁当の日」「バイキング料理」を隔月に、「セレクト献立」を毎日実施した。

① お弁当の日

日頃よりお付き合いのある、お弁当業者の中から毎回業者を選択して注文した。

月日	メニュー
4/18	エビフライ弁当(610円) ハンバーグ弁当(500円) 豚生姜焼き弁当(560円) 注文先 ぱんぷきん
6/20	寿司華弁当(620円) 幕ノ内弁当(540円) 鶏唐揚げ弁当(540円) 注文先 自笑亭
8/22	ビビンバ弁当(580円) 幕ノ内弁当(580円) ポン酢おろしから揚げ弁当(580円) 注文先 おべんとうコックさん
10/12	エビフライ弁当(610円) ハンバーグ弁当(500円) 豚生姜焼き弁当(560円) 注文先 ぱんぷきん
12/19	エビピラフ弁当(500円) しらす弁当(550円) ハンバーグ弁当(500円) 注文先 月のうさぎ
2/19	ヒレカツ弁当(510円) ハンバーグ弁当(540円) 華にぎり(640円) 注文先 知久屋

② バイキング料理

月日	メニュー
5/11	御飯 空豆と海老のパスタ 鮭のキノコジンジャーソース カレーポトフ 茄子のみそチーズ焼 揚げじゃが煮 春キャベツのサラダ 卵豆腐じゅんさいあん パリパリ胡瓜 枝豆のスープ ババロアゼリー
7/24	御飯 豚ヒレと茄子の煮浸し 鱈のチリソース ほうれん草のキッシュ トマトとツナの冷静パスタ カニシューマイ なめ茸奴 ちしゃ生酢 ズッキーニの塩昆布炒め ビシソワーズ サイダーゼリー

月日	メニュー
9/26	御飯 ナン チキンカレー 海老とトマトのカレー キーマカレー トッピング8種 キノコのキッシュ 人参のサラダ 豆腐と小松菜の和え物 トマトとレタスのスープ ほうじ茶プリン
11/21	御飯 メンチカツサンド 海老チリソース カキとほうれん草のグラタン 揚げ餃子 豚とチンゲン菜の麻婆春雨 ジャガイモと切干のカレー炒め 白菜のサラダ くらげの中華和 もやしのみそスープ 杏仁マンゴー
1/21	パン・ア・ラ・カルト 稲荷ずし カキフライ 蕪のカレーピクルス ハンバーグの赤ワインソース エビグラタン キノコのソテー ブロッコリーのアンチョビサラダ 豚バラとキャベツのさっと煮 オレンジミルクゼリー
3/20	御飯 菜の花辛し和え 揚げ物 2 種 人参の W サラダ 筍のシャキシャキグラタン 豚キムチじゃが あさりとキャベツの酒蒸し つみれ汁 ミルクプリン

③セレクト献立

月日	メニュー
4/11	副菜の選択 茄子の南蛮漬けor野菜の中華ドレッシング 御飯 豆腐と穴子の卵とじ 味噌汁 生パイン
5/30	デザートを選択 マンゴーフルーチェorマロンババロア 御飯 イワシ団子 揚げ茄子のサラダ 味噌汁
6/6	主菜の選択 海老とイカのチリソースor鶏のビール煮 御飯 ブリッコリーのサラダ 中華スープ アシドミルク
7/18	副菜の選択 南瓜とがんもの煮物 or 茄子の味噌煮 巻き寿司 みぞれ汁 キウイ
8/8	主菜の選択 華風炒り卵 or キャベツとツナのココット 御飯 炒り豆腐 味噌汁 生パイン
9/12	主菜の選択 パンナコッタゼリーor マンゴープリン 冷やし中華 飲茶 アップルティ
10/30	主菜の選択 魚の生姜焼き or 鶏のビール煮 御飯 法蓮草のポン酢和え 味噌汁 ピーチゼリー
11/5	副菜の選択 オクラとトマトのモズク和え or 茄子のゴマ和え 御飯 チーズサンドカツ 冬瓜のうす葛汁 キウイ
12/10	デザートを選択 ヨーグルトゼリー or Wいちご エビカツカレー グリーンサラダ

月日	メニュー
1/28	副菜の選択 南瓜の南蛮煮 or 野菜の煮浸し 御飯 茹イカのおんかけ 味噌汁 洋梨缶
2/5	副菜の選択 柚子みそ大根 or 白菜の煮浸し 三食井 清汁 キウイ
3/1	主菜の選択 鶏の五目煮 or ポテトとツナのココット 御飯 南瓜のベーコン煮 若竹汁 フルーツカクテル缶

3、支援・援助について

個別支援計画の作成により、利用者個々の支援目標を明確化し、全職員が共通理解のもと、日常生活面・作業面等の諸活動を通じて、今持てる力を発揮できるようにと支援を行った。

(1) 日常生活支援

今あるできる力を有効に使って、充実感のある日々の獲得に支援の重点を置いてきた。自らの思いをうまく表現できない。不快感を伝えるのに時間がかかったり困難だったりする生活を少しでもなくしていきたいという「願い」を込めてひとり一人に向き合い支援を行ってきた。

①サークル活動(毎週木曜日)

サークル名	実施場所	内容
音楽	会議室	最近の流行歌の鑑賞や合唱、リズムに合わせての打楽器での合奏や合唱。
レクリエーション	作業室・運動場 中庭	音楽に乗ってのリズムダンスや屋内、屋外でのゲームや散歩、夏にはプール遊びなどに興じた。
美術	作業室	主に愛護ギャラリー展に向けての絵画・タペストリーやパッチワーク等の作成を行った。
生け花	会議室	月1回ボランティアの先生に来園して頂き、希望者を対象に季節に合ったいけばなを生けた。 なお、先生の都合で8月で終了となった。

②料理教室

月日	内容	月日	内容
4/4	年間計画の話し合い	5/16	生春巻き
6/27	おにぎり弁当	7/31	どら焼き
8/31	そうめん	9/5	サンドイッチ
10/24	焼き餅	11/13	醤油ラーメン
月日	内容	月日	内容
12/18	カレーライス	1/29	餃子
2/12	バレンタインデーケーキ	3/18	パフェ カフェオレ 反省会

(2) 作業活動

作業時間 生活班 火・水・金曜日 15:10～16:00

作業班 月～金曜日(木曜日を除く) 13:20～14:45

重度化に合わせた日課の細分化で午前の活動が午後に^す連れ込むことが増えたり、全体での行事が増えたりして、作業時間が減少傾向にある。しかし、一部の利用者から、余暇時間などに作業をしたいという声もあり、気持ちに応じて作業時間外にも作業を実施することもあった。

作業収益一覧(円)

	室内作業班		缶潰し 作業班	農作業班	月合計	備考
	藤本商会	いとう手袋				
4月	6,200	3,105	18,360	1,500	29,165	3月分含む
5月	1,420	3,220	4,860	0	9,500	
6月	3,770	0	14,040	10,720	28,530	
7月	3,080	3,358	5,400	470	12,308	
8月	3,080	1,656	6,480	3,400	14,616	
9月	3,080	4,002	7,560	0	14,642	
10月	1,540	5,773	5,940	13,940	27,193	
11月	3,080	0	10,260	0	13,340	
12月	3,080	4,301	4,320	8,930	16,311	
1月	0	0	8,640	0	8,640	
2月	3,080	4,876	5,400	1,920	14,276	
3月	1,540	0	0	700	2240	
合計	32,950	30,291	91,260	41,580	196,081	
前年	28,360	20,677	119,880	32,130	201,047	
前年比	+4,590	+9,614	-28,620	+9,450	-4,963	

※藤本商会(浜松市東区安新町)……………割りばしの袋詰め

いとう手袋(浜松市中区高丘東)……………ウエスの袋詰め

4. 会議について

棟会議と職員・ケア会議を毎月、給食保健会議を隔月に開催した。

月日	職員会議	ケア会議
4/20	1. 園長より 2. 課長より 3. プレイルームの配置について 4. 掃除について 5. レクリエーション案の募集 6. クリスマス会担当者より	
5/18	1. 園長より 2. 課長より 3. 食事の際の誘導について 4. 水分補給について 5. 休日にどう安全に「おやつ」を提供するか 6. 春期行楽について	1. 棟会議での検討事項・決定事項の発表
6/22	1. 園長より 2. 課長より 3. おやつの提供の方法について 4. 創立祭について 5. 遅出の掃除について 6. 午前中の水分補給について	1. 棟会議で検討したケース事案について 2. ショート利用者について
7/20	1. 園長より 2. 副園長より 3. 課長より 4. 夏祭りについて	1. 棟会議で検討したケースについて
8/21	1. 園長より 2. 課長より 3. 夏祭りについて	1. T・Sさんの食事の席について 2. 新利用者について 3. 棟会議で検討したケースのについて

月日	職員会議	ケース会議
9/21	1. 園長より 2. 副園長より 3. 課長より 4. 看護師より 5. 日帰り旅行について 6. スポーツレク祭について	1. S・Mさんの他害行為の対応について 2. 棟会議で検討したケースについて
10/19	1. 園長より 2. 副園長より 3. 課長より 4. スポレク祭について 5. おやつ提供日を平日に	1. M・Cさんのケアについて 2. T・Yさんの対応について
11/23	1. 園長より 2. 副園長より 3. 事務長より 4. 課長より 5. クリスマス会の説明 6. 朝の入浴準備について 7. 愛護ギャラリー出展作品	1. S・Yさんの水分補給及び歩行ケアについて
12/21	1. 園長より 2. 副園長より 3. 課長より 4. 餅つきについて 5. 残留者行楽について	・棟会議での検討事項の報告
1/	1. 園長より 2. 副園長より 3. 課長より 4. 勤務体制変更に伴う 職員に動きについて	・冰山モデル ワークシート A 棟 I・H さん B 棟 K・K さん C 棟 T・S さん D 棟 M・M さん
2/22	1. 園長より 2. 副園長より 3. 課長より 4. GH 見学会	なし
3/15	1. 園長より 2. 副園長より 3. 課長より	冰山モデル ワークシート A 棟 K・F さん B 棟 M・T さん C 棟 O・A さん D 棟 O・F さん

5. 研修について

(1) 施設内研修

月日	内容	講師
4/6	新任職員研修会①	小柳津課長
4/10	新任職員研修会②	小柳津課長
4/20	グループホームについて	石山翔一
5/18	学園でのヒヤリ・ハット	岩井麻琴
6/19	障がい者の自立支援の理論・実践	聖隷クリストファー大学 古川和稔教授
6/22	感染症	小柳津美津子
7/20	ユマニチュード	中西裕一郎
8/21	腸内フローラと健康	小宮山雅子
9/21	ケース研究 Y・Sさん	井上雄貴
10/9	強度行動障害について	浜松学院大学短期大学部 志村浩二准教授
10/19	にやりほっと	高林 翔
11/8	個別支援計画	沼津のぞみの里 池谷 修施設長
11/23	自己覚知について	雷 結吏
12/21	知的障害者と自立	丸山 徳
1/18	夜尿症について	竹嶋 正
1/22	事例検討会	浜松学院大学短期大学部 志村浩二准教授
2/22	湿疹・皮膚炎について	福澤 瞳
3/15	ケース研究 S・Yさん	入澤香里奈

(2) 施設外研修・会議等

月	日	研修・会議名(開催場所)	内容	参加者
4	27	県知協総会 (静岡市葵区シズウエル)	事業計画・報告	杉山園長
5	9	チームリーダーコース 県社協主催 (浜松市中区)	講義・演習	中西 支援員
	11	接遇・マナー・コミュニケーション講座 県社協主催 (浜松市中区)	講義・演習	中川 支援員

月	日	研修・会議名(開催場所)	内容	参加者
	15	コンプライアンス講座 県社協主催 (静岡市葵区)	講義・演習	福澤 支援員
	19	アンガーマネジメントを学ぶ講座 県社協主催 (静岡市葵区)	講義・演習	高林 支援員
	22	児童障害部会 浜松市施設協主催 (浜松市中区)	事業報告・計画	杉山園長
	23	施設長・主任者会議 県知協主催 (静岡市葵区)	部会テーマ検討・ 年間計画	加藤 主任
	24	チームリーダーコース 県社協主催 (浜松市中区)	講義・演習	中西 支援員
	25	チームリーダーコース 県社協主催 (浜松市中区)	講義・演習	中西 支援員
6	6	西施連施設見学会 当番 天竜厚生会 (浜松市中区)	施設見学 天竜厚生会城北の家他	田中 支援員
	26	県知協総会 県知協主催 (静岡市葵区)	事業計画・報告 基調講演・表彰等	杉山園長 雷支援員
	27	浜松市社会福祉施設協会総会 (浜松市中区)	状況報告等	杉山園長
	28	西施連研修会 当番 根洗寮 (浜松市浜北区)	講義・グループワーク	丸山 支援員
7	8	介護福祉士実習指導者講習会 県介護福祉士会主催(静岡市葵区)	講義・演習	中西 支援員
	12 13	東海大会 東海地区福祉協会(愛知県豊橋市)	基調講演・近況情勢報告 分科会	中西 支援員
	25	安全運転管理者法定講習 安全運転管理者協会主催(浜松市中区)	講義・事故事例 活動報告	小柳津 課長
	26	介護福祉士実習指導者講習会 県介護福祉士会主催(静岡市葵区)	講義・演習	中西 支援員
8	4	生涯教育研修会 栄養士会主催(浜松市中区)	講演	小宮山 栄養士
	6	行政との連絡会 浜松市社会福祉施設絵連絡会	意見交換	杉山園長
	11	介護福祉士実習指導者講習会 県介護福祉士会主催(静岡市葵区)	講義・演習	中西 支援員

月	日	研修・会議名(開催場所)	内容	参加者
	13 14	障害者虐待防止・権利擁護研修 静岡県主催 (静岡市葵区)	講義・演習	中西 支援員
	19	介護福祉士実習指導者講習会 県介護福祉士会主催(静岡市葵区)	講義・演習	中西 支援員
	21	強度行動障害支援者養成研修 作業所連絡会・わ主催(浜北区)	基礎研修・講義・演習	雷支援員 井上支援員
	24	障害者虐待防止・権利擁護研修 静岡県主催 (静岡市葵区)	演習	中西 支援員
	27	強度行動障害支援者養成研修 作業所連絡会・わ主催(浜北区)	基礎研修・講義・演習	雷支援員 井上支援員
	28	強度行動障害支援者養成研修 作業所連絡会・わ主催(浜北区)	実践研修・講義・演習	雷支援員 井上支援員
	30	強度行動障害支援者養成研修 作業所連絡会・わ主催(浜北区)	実践研修・講義・演習	雷支援員 井上支援員
9	3 4	全国グループホーム研究協議会 日知協主催 (愛媛県松山市)	全体会・分科会	加藤主任
	4	障害者虐待防止・権利擁護研修 静岡県主催 (静岡市葵区)	講義・グループワーク	中西 支援員
	26	西施連研修会 当番 緑ヶ丘学園 (磐田市)	講義	井上 支援員
10	2	保健・医療部会 県知協主催 (静岡市葵区)	グループ討議	小柳津 看護師
	29 30	障害者支援施設部会 県知協主催(浜松市中区)	分科会・全体会	井上支援員 入澤支援員 杉山園長
	30 31	サービス管理責任者研修 静岡県主催 (静岡駿河区)	講義・演習	加藤 主任
11	1 2	サービス管理責任者研修 静岡県主催 (静岡葵区)	講義・演習	加藤 主任
	13	西施連研修会 当番 浜名きぼう (湖西市)	施設見学	石山 支援員

月	日	研修・会議名（開催場所）	内容	参加者
	14	全国大会	全体会	岩井 支援員
	15	日本知的障害者福祉協会主催	分科会	
	16	（山口県山口市）	情勢報告	
	27	強度行動障害支援者基礎研修	講義・演習	石山・高林・加藤・渡 邊・中川・入澤・池谷
	28	静岡県主催（浜松市浜北区）		
12	10	障害者虐待防止研修会 浜松市主催（浜松市中区）	講義・演習	加藤 主任
1	18	スーパービジョン研修会	講義・演習	中西 支援員
	19	全国社協主催		
	20	（神奈川県三浦郡葉山町）		
	25	県知協施設長研修会 県知協主催（沼津市）	講演	杉山園長
	29 30	強度行動障害支援者実践研修 静岡県主催（静岡市葵区）	講義・演習	丸山・田中 加藤・池谷・
2	6	高齢者・障害者虐待防止講演会 浜松市主催（浜松市中区）	講演会	小柳津 課長
	14	施設職員研修会 浜松市主催（浜松市浜北区）	講義	石山 支援員
	26	西施連研修会 当番 四季の郷（浜松市浜北区）	講義	雷 支援員
	27	浜松市施設協児童障害部会 天竜厚生会主催（天竜区）	講義・グループワーク	丸山 支援員
3	7	強度行動障害研修 県知協主催（静岡市葵区）	講義	中西支援員 小柳津課長

6. 保健衛生について

（1）健康診断等

定期健康診断

平成 30 年 9 月 10 日

インフルエンザ予防接種

平成 30 年 10 月 13 日

生活習慣病検診

平成 30 年 11 月

内科検診

平成 31 年 3 月 23 日

(2) 入院状況

利用者	病院名	病名	入院期間
K・M	佐鳴湖病院	統合失調症	H30.3.12~H30.5.26
Y・Y	浜松医療センター	窒息	H30.4.21~H30.4.30
K・M	聖隷三方原病院	てんかん	H30.5.26~H30.8.6
I・H	浜松医療センター	悪性リンパ腫	H30.6.28~H30.7.8
K・K	聖隷三方原病院	大腿骨骨頭手術	H30.7.24~H30.8.18
K・I	浜松医療センター	大腸がん	H30.9.24~H30.10.12
Y・M	浜松医療センター	肺炎	H31.2.25~H31.3.5

7. 防災・保安

(1) 防災訓練

月日	想定	訓練内容	参加者(利用者・職員)
4/10	火災	避難・誘導訓練 非常通報伝達訓練(職員)	利用者 52人 職員 27人
5/8	火災	避難・誘導訓練 消火器による消火訓練 非常消防設備の機能確認 非常通報訓練(職員)	利用者 52人 職員 12人
6/5	地震	避難・誘導訓練	利用者 51人 職員 15人
7/10	夜間 火災	避難・誘導訓練 夜勤者のみの対応訓練	利用者 47人 職員 16人
8/7	火災	避難・誘導訓練	利用者 48人 職員 12人
9/4	大規模 地震	地震による身の守る訓練 避難・誘導訓練 消火器による消火訓練(職員)	利用者 51人 職員 10人
10/2	火災	避難・誘導訓練	利用者 52人 職員 12人
11/6	大規模 地震発 生に伴う 火災	避難・誘導訓練 消火訓練 伝達訓練	利用者 53人 職員 14人

月日	想定	訓練内容	参加者(利用者・職員)
12/4	火災	避難・誘導訓練 非常装置通報訓練	利用者 52 人 職員 13 人
1/22	地震	避難・誘導訓練	利用者 52 人 職員 12 人
2/5	火災	避難・誘導訓練	利用者 53 人 職員 13 人
3/5	夜間 火災	避難誘導訓練	利用者 49 人 職員 12 人

(2) 防災設備点検

下記の消防設備について、業者委託による年 2 回の定期点検を実施した。

自動火災報知機 誘導灯 非常照明 非常放送設備 防火戸
消火器 非常火災通報装置 スプリンクラー 移動式粉末消火設備 肺炎設備
パッケージ型強化液消火設備

① 防災用設備の自主点検

毎月 1 回実施(外観・機能)

1. 火気使用設備器具(設置場所及び安全性)

配膳室 湯沸器 ガステーブル ガスコンロ

2 階支援員室 電気コンロ

園庭 ガス器具庫

洗濯室 大型乾燥機

ボイラー室 給湯ボイラー

2. 電気設備器具(外観点検及び機能点検)

配線・接続の安全性

非常灯

3. 消防用設備器具(外観点検及び機能点検)

消火器 スプリンクラー 移動式粉末消火設備 パッケージ型強化液消火設備

火災報知器 非常通報装置 誘導灯・標識 防火戸 肺炎設備

4. その他の設備

非常口の安全性 避難器具

② 消防立入検査

平成 30 年度はありませんでした。

8. 入退所について

①施設入所支援

入所					退所				
月	日	氏名	福祉事務所	経路	月	日	氏名	福祉事務所	退所理由
6.	1	Y・S	浜松市東区	在宅	4	30	Y・S	森町	死亡
8	20	M・Y	浜松市中区	通所在宅	7	8	I・H	掛川市	死亡
9	10	T・Y	浜松市南区	在宅	8	7	K・M	浜松市北区	長期入院

②生活介護

入所					退所				
月	日	氏名	福祉事務所	経路	月	日	氏名	福祉事務所	退所理由
					3	17	H・M	浜松市中区	他施設へ

9. 面会・外泊・帰省等について

(1) 面会・外泊等の状況

	面 会	外 出	外 泊		備 考
			人 員	延べ泊数	
4 月	0 人	4 人	5 人	8 泊	親の会総会
5 月	0 人	4 人	4 人	5 泊	春期帰省
6 月	0 人	4 人	8 人	16 泊	
7 月	1 人	3 人	7 人	14 泊	
8 月	1 人	8 人	4 人	8 泊	夏期帰省
9 月	1 人	4 人	6 人	24 泊	
10 月	1 人	3 人	7 人	22 泊	
11 月	0 人	8 人	9 人	28 泊	
12 月	1 人	3 人	7 人	23 泊	冬期帰省
1 月	0 人	3 人	6 人	14 泊	冬期帰省
2 月	0 人	3 人	6 人	20 泊	
3 月	1 人	3 人	9 人	26 泊	
計	6 人	50 人	78 人	208 泊	
前年比	+2 人	-9 人	+14 人	+24 泊	

(2) 帰省状況

	期 間	全 期 間		全 体 帰省率	最長帰省 日 数	備 考
		帰省者数	残留者数			
春期	H30.4.29~H30.5.6	8 人	28 人	27.3%	9 日	
夏期	H30.8.11~H30. 8.18	5 人	27 人	26.3%	11 日	
冬期	H30.12.28~H30.1.4	6 人	25 人	36.7%	25 日	

※ 全体帰省率=帰省した利用者の延べ日数÷(帰省期間の日数×入所利用者数)

※ 帰省と外泊の区分

外泊は帰省期間(春・夏・冬)以外に自宅やその他の場所に泊まった数として計上し、
帰省は帰省期間に帰省した人と日数を表記してあります。

10. 実習・ボランティアについて

(1) 実習

期 間	学 校 名	人数	延べ日数
平成 30 年 6 月 18 日 ～平成 30 年 6 月 30 日	静岡こども福祉専門学校 こども未来科	1 人	10 日
平成 30 年 7 月 2 日 ～平成 30 年 7 月 14 日	浜松学院大学短期大学部 幼児教育科	2 人	24 日
平成 30 年 7 月 16 日 ～平成 30 年 7 月 28 日	浜松学院大学短期大学部 幼児教育科	2 人	24 日
平成 30 年 8 月 3 日 ～平成 30 年 8 月 17 日	浜松学院大学 こどもコミュニケーション学科	2 人	24 日
平成 30 年 8 月 20 日 ～平成 30 年 9 月 1 日	浜松学院大学 こどもコミュニケーション学科	3 人	36 日
平成 30 年 10 月 14 日 ～平成 30 年 10 月 15 日	浜松学院大学短期大学部 幼児教育科	1 人	2 日
計	3 校	11 人	110 日

(2) 体験学習

今年度はありませんでした。

(3) ボランティア

団体・個人名	活動内容	活動日数	延べ人数
神久呂地区社協 お手伝いネット	洗濯物の整理 行事手伝い	98日	271人
家庭倫理の会	洗濯・環境整備 行事手伝い	12日	44人
やまゆりの会	盆踊り指導	3日	9人
ボーイスカウト 浜松第19団	行事手伝い (夏祭り・スポレク祭)	2日	26人
竹内正子さん 山口尚子さん	ダンス指導	12日	18人
富田日出子さん 小林和子さん	生け花サークル指導	5日	10人
牧野みえ子さん	繕い物修繕	11日	11人
神久呂中学吹奏楽部	演奏(クリスマス会)	1日	20人
計		114日	409人

11. その他

(1) 知的障害者短期入所サービス

月	人員 (延人員)	支援費 (円)	利用料 (円)	計 (円)	実人員	備考
4月	75	700,127	126,300	826,427	4	
5月	76	711,284	128,948	840,232	4	
6月	44	360,971	74,842	75,202	3	
7月	34	280,549	57,332	337,881	3	
8月	41	336,223	68,668	404,891	3	
9月	64	520,176	107,172	628,348	4	
10月	66	527,780	110,868	638,648	4	
11月	65	520,063	109,580	629,643	4	
12月	61	480,454	103,188	583,642	3	
1月	61	480,454	102,828	583,282	3	
2月	64	519,398	108,372	624,770	3	
3月	63	796,538	106,524	603,062	3	
計	714	5,931,017	1,205,622	7,136,638		

(2) 日中一時支援事業

月	人員 (延人員)	支援費 (円)	利用料 (円)	計 (円)	実人員	備考
4月	4	29,600	3,120	32,720	1	
5月	5	35,200	3,660	38,860	2	
6月	4	29,600	3,020	32,620	1	
7月	4	29,600	3,020	32,620	1	
8月	8	51,200	4,780	55,980	3	
9月	3	24,000	2,580	26,580	1	
10月	3	24,000	2,580	26,580	1	
11月	3	24,000	2,580	26,580	1	
12月	4	26,400	3,020	29,420	1	
1月	3	24,000	2,580	26,580	1	
2月	4	30,400	3,020	33,420	2	
3月	5	31,200	3,560	34,762	2	
計	50	359,200	37,520	396,722		

(3) 苦情の受理及び解決の状況について

① 申出人別受理状況

利用者	家族	計
0人	0人	0人

② 苦情解決の状況

受理	解決	通知	調査中	未解決
—	—	—	—	—

「通知」欄は申出人に対して口頭で解決結果を知らせた件数

「苦情解決委員会」「第三者委員」への進達はありません。

平成 30 年度 菊水光明会事業報告

1. 評議員会及び理事会等の開催状況

法人業務の適正化、並びに施設運営による利用者の福祉向上を図るため、次の会議等を開催した。

(1) 定時評議員会

	内 容	備 考
日 時	平成30年6月21日 14:00～15:15	
場 所	光 明 学 園 会 議 室	
出席者	出席 4 人 欠席 0 人、 理事出席 2 人	
協議議題	平成29年度事業報告 平成29年度決算書類(貸借対照表及び収支計算書)及び財産目録の承認	

(2) 理事会

		内 容	備 考
第一回	日 時	平成30年5月30日 14:00～15:30	
	場 所	光 明 学 園 会 議 室	
	出席者	出席 6 人 欠席 0 人 監事出席 2 人 欠席 0 人	
	協議議題	平成29年度事業報告及び決算、監事による監査報告、定時評議員会の招集・議題、グループホーム建設資金借入申込、グループホーム敷地造成工事、車輛の購入、平成 30 年度第 1 次補正予算、経理規程の一部改正	
第二回	日 時	平成30年9月27日 14:00～15:30	
	場 所	光 明 学 園 会 議 室	
	出席者	出席 5 人 欠席 1 人 監事出席 2 人 欠席 0 人	
	協議議題	グループホーム光明工事請負契約、平成30年度事業の進捗状況(理事長等の職務執行状況報告として、光明学園主要事業実施状況・資金収支状況・施設設備の整備状況等)、平成30年度グループホーム拠点区分会計補正予算	
第三回	日 時	平成30年12月18日 14:00～15:30	
	場 所	光 明 学 園 会 議 室	
	出席者	出席 6 人 欠席 0 人 監事出席 1 人 欠席 1 人	

	協議議題	共同生活援助「グループホーム」新設事業進捗状況、施設・設備整備積立金及び積立資産の取崩、(仮称)グループホーム光明植栽工事、平成30年度光明学園拠点区分及びグループホーム光明拠点区分会計補正予算	
第四回	日 時	平成31年3月12日 14:00～15:00	
	場 所	光 明 学 園 会 議 室	
	出席者	出席 6 人 欠席 0 人 監事出席 2 人 欠席 0 人	
	協議議題	グループホーム和 の開設、平成30年度 最終補正予算、平成31年度 事業計画及び収支予算、経理規程の一部改正、運営規程(グループホーム和、光明学園)の制定・改正、職員就業規則の一部改正、給食業務委託契約、平成30年度事業の進捗状況(理事長等の職務執行状況報告として収支予算執行状況及び施設設備の整備状況等)	

(3) 監事監査の実施

日 時 平成30年5月23日 10:00～14:00
 場 所 光明学園 会議室
 出席者 監事 2 名
 議 題 ①平成 29年度業務執行状況審査、②平成 29年度収支決算審査

2. 寄付金品の受入状況

単位 : 円

本 部 会 計		施 設 会 計	
金 額	氏 名	金 額	氏 名
113,560	法人の役職員		
1,110,000	その他		
1,223,500	計		

3. グループホーム 和 の建設

所在地 浜松市西区神ヶ谷町8561-1

敷地面積 1,687.45 m²

建物面積・構造 325.00 m² 木造平家建て

施設整備費

132,363,840円(内補助金 23,200,000 円)

開 設 平成 31 年 4 月 1 日

定 員 6 名 (他に短期入所1名)